



地域とともに、地域のために



2022年6月15日  
株式会社アクロラド  
沖縄電力株式会社

## アクロラド×沖縄電力 「うちな～CO<sub>2</sub>フリーメニュー」の契約締結について

株式会社アクロラド（代表取締役社長：大野 良一、以下、アクロラド）と沖縄電力株式会社（代表取締役社長：本永 浩之、以下、沖縄電力）は、脱炭素社会の実現に向けて、沖縄県産の資源を活用した非化石証書を用いて電気のCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロとする電気料金メニュー「うちな～CO<sub>2</sub>フリーメニュー」の契約を締結しました。

うるま市に本社工場を持ち、半導体検出器の製造を主たる事業とするアクロラドは、ヘルスケア事業を世界展開している Siemens Healthineers AG（ドイツ）のグループ会社として、SDGs（持続可能な開発目標）へ積極的に取り組んでおります。

次世代のX線CT装置の検出器※1など、新しい用途に向けた半導体の生産量が拡大する中、電力消費量の増加を踏まえた更なる環境対策として、本メニューの導入を決定いたしました。本社工場での採用により、年間約4,000tのCO<sub>2</sub>排出削減※2を見込んでおります。

沖縄電力は、2050 CO<sub>2</sub>排出ネットゼロの実現に向けたロードマップを公表しており、「うちな～CO<sub>2</sub>フリーメニュー」を通じ、お客さまの多様なニーズにお応えするサービスの充実を図るとともに、2050年CO<sub>2</sub>排出ネットゼロの実現に向け取り組んでまいります。

※1：2021年、Siemens Healthineers AGが世界で初めて実用化したX線CT装置の検出器。

※2：CO<sub>2</sub>排出量約4,000tは約44万本の杉の木が1年間に吸収する量と同等とされております。

別紙：沖縄県産資源を活用した地産地消型のCO<sub>2</sub>フリーメニュー（イメージ図）

（関連プレスリリース）

- ・「沖縄の資源を活用した再生可能エネルギー電源に由来するCO<sub>2</sub>フリー価値付きの電気料金メニューの提供開始について」（2021年2月1日） [https://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news\\_release/2020/210201.pdf](https://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news_release/2020/210201.pdf)

以 上

# 沖縄県産の資源を活用した地産地消型のCO<sub>2</sub>フリーメニュー



**沖縄県産の資源**

自然エネルギーを活用

再生可能エネルギー電源

太陽光・風力発電等※1

沖繩の自然

石炭の代替燃料として活用

木質ペレット

木質バイオマス混焼発電

※1 FIT 電気を含みます。この電気を調達する費用の一部は、当社以外のお客さまを含めて電気の利用者が負担する賦課金によって賄われています。

CO<sub>2</sub> 排出量  
実質ゼロ

アクロラド本社工場

**沖縄電力**

※2 供給する電気は、他のお客さま同様に LNG や石炭等を用いた電源も含まれます。